

日本語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
3910312	日本語聴解IA	2	1.0	1・2	春ABC	火4	9P102	関 裕子	大学の授業に必要な聴解能力のトレーニングを行う。聞いて理解できる語彙・表現を増やすとともに、テーマ、話の流れ、要点をつかむ力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。受講人数制限あり。日本語聴解A修得済みの者は履修できない。対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910322	日本語聴解IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	火4	9P102	関 裕子	大学の授業に必要な聴解能力のトレーニングを行う。聞いて理解できる語彙・表現を増やすとともに、話し手の意図を汲み取り、予測する力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。受講人数制限あり。日本語聴解B修得済みの者は履修できない。対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910412	日本語読解IA	2	1.0	1・2	春ABC	月4	9P209	小野 正樹	大学の授業に必要な読解能力のトレーニングを行う。要約、キーワード抽出、同一テーマの記事探しを行った上で、参加者間で議論を行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。受講人数制限あり。日本語読解A修得済みの者は履修できない。対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3910422	日本語読解IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	月4	9P105	小野 正樹	大学の授業に必要な読解能力のトレーニングを行う。要約、キーワード抽出、同一テーマの記事探しを行った上で、参加者間で議論を行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。受講人数制限あり。日本語読解B修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910512	日本語作文IA	2	1.0	1・2	春ABC	木2	9L102	杉浦 千里	短作文練習と宿題のフィードバックと講義を通して、小論文の構成や表現を学び、作文力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。受講人数制限あり。日本語作文A修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910522	日本語作文IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	木2	9L102	杉浦 千里	短作文練習と宿題のフィードバックと講義を通して、レポートの構成や表現を学び、作文力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。受講人数制限あり。日本語作文B修得済みの者は履修できない。 対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
3910612	日本語演習IA	2	1.0	1・2	春ABC	水2	9P201	平形 裕紀子	大学生生活に必要な公の場における日本語でのコミュニケーション能力、基礎的な口頭発表能力を身につけることを目的とし、ディスカッション及びプレゼンテーションを重視したプロジェクトワークを行う。また、問題提起から問題解決に至る方法を協同的、自立的に学ぶ。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。受講人数制限あり。日本語演習A修得済みの者は履修できない。対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910622	日本語演習IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	水2	9P201	平形 裕紀子	大学生生活に必要な公の場における日本語でのコミュニケーション能力、やや抽象的な問題についての口頭発表及びレポート作成能力を身につけることを目的とし、ディスカッション及びプレゼンテーションを重視したプロジェクトワークを行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任に受講許可を得ること。学群特別聴講学生で日本語レベル7以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。受講人数制限あり。日本語演習B修得済みの者は履修できない。対面 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

Japan-Expert(学士)プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
3920132	JE日本語 中上級話す	2	2.0	1	秋ABC	水2,金3	大学会館B棟408	糸川 優,高橋 純子	興味関心のある分野や専門分野について理由や説明を簡潔に話したり、討論したりすることができるようになる。インターンシップ時に必要な会話表現、待遇表現等も使えるようになる。さまざまな問題について、長所と短所、自分の意見が説明できるようになる。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級話す(3920112)」の単位修得者は履修できない。対面
3920232	JE日本語 中上級聞く	2	2.0	1	秋ABC	水1,金4	大学会館B棟408	平形 裕紀子	日常的だが、やや難易度の高い語彙や内容を含むトピックを用いる。アカデミックな場面での講義の聞き取りも扱う。大切な情報のメモ・要約・操作と、音の変化の理解、人間関係の把握、男女の言葉遣いの把握ができるようになることを目指す。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級聞く(3920212)」の単位修得者は履修できない。対面
3920242	JE日本語 上級聞く	2	2.0	1	秋ABC	水1,金4	大学会館B棟410	人見 香緒,君村 千尋	やや専門的で広い範囲のトピックを用い、アカデミックな場面での講義の聞き取りができるようになる。推測を加えて話の流れを理解することができる。明示されていない話者の意図を理解する、音変化(難)を理解する、敬語などを手掛かりに人間関係(親疎関係、上下関係)を判断する、などができるようになることを目指す。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級聞く(3920222)」の単位修得者は履修できない。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3920332	JE日本語 中上級読む	2	2.0	1	秋ABC	月・水3	大学会館B棟408	鴻鳥 さおり	意見文や論理的な文章の理解ができるようになることを目指す。学習者自身の専門分野の文献も扱い、さまざまなジャンルの文章を読み、グループによる話し合いを通して、読みの共有、意見交換を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級読む(3920312)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920432	JE日本語 中上級書く	2	2.0	1	秋ABC	火・木3	大学会館B棟408	田中 孝始, 李 欣穎	やや専門的な話題について、1500字程度の読み手にわかりやすい文章やレポートが書けるようになる。文章構成の型を使って、具体例を挙げたり引用したりしながら、順序立てて意見や報告が書けるようになる。適切な表現や語彙を用いて、説明文や意見文が書けるようになる。また待選表現を用いたメールの書き方も学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級書く(3920412)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920442	JE日本語 上級書く	2	2.0	1	秋ABC	火・金2	大学会館B棟410	君村 千尋, 金子 信子	抽象的な事柄も含め、3000字程度のまとまりのある文章が書けるようになる。専門分野の論文の要約、報告論文の作成もできるようになる。読み手を意識して、論理的に一貫し、構成の整った文章を書く、根拠を挙げて意見を述べる、正しい構文で書く、正しく引用するなどができるようになることを目指す。また待選表現を用いたメールの書き方も学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級書く(3920422)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920532	JE日本語 中上級文法	2	2.0	1	秋ABC	月4, 金2	大学会館B棟408	長戸 三成子, 石田 麻実	入学前に学習している文法項目を復習し、中上級レベルの文法項目を学ぶ。語形の変化の多い表現を取り上げ、どのような状況でどう使い分けるのか、より詳しく学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級文法(3920512)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920542	JE日本語 上級文法	2	2.0	1	秋ABC	月1, 金3	大学会館B棟410	人見 香緒, 長戸 三成子	上級レベルの文法項目を学び、書きことば、話しことばに使われている高度な日本語を理解する。円滑なコミュニケーション活動を行うための日本語の語用論的特徴を理解する。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級文法(3920522)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920632	JE日本語 中上級漢字	2	2.0	1	秋ABC	火・木2	大学会館B棟408	三谷 絵里	中上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身の専門分野の漢字語彙も扱う。学習者自身が自分の弱みに気づき、それを克服するための方法を工夫できるようにする。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級漢字(3920612)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920642	JE日本語 上級漢字	2	2.0	1	秋ABC	月2, 木3	大学会館B棟410	田中 孝始, 金子 信子	上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身の専門分野の漢字語彙も扱う。学習者自身の専門分野の本や論文、資料等から漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できるようにする。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級漢字(3920622)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920732	JE日本語 中上級総合日本語	2	2.0	1	秋ABC	月2, 火4	大学会館B棟408		学類の授業を受講するために必要な日本語力やスキルを総合的に身につける。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語中上級総合日本語(3920712)」の単位修得者は履修できない。 対面
3920742	JE日本語 上級総合日本語	2	2.0	1	秋ABC	月・火3	大学会館B棟410		学類の授業を受講するために必要な日本語力やスキルを総合的に身につけ、日本語運用力を高める。	Japan-Expert(学士)プログラム生が優先的に受講できる。ただし、「Japan-Expert日本語上級総合日本語(3920722)」の単位修得者は履修できない。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3920812	Japan-Expert専門日本語（アグロノミスト養成コース）	2	1.0	1	秋ABC	集中			日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、アグロノミスト養成コース担当教員から基礎的な知識、専門用語を習得することにより、農業に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム アグロノミスト養成コースの学生に限る。 対面
3920822	Japan-Expert専門日本語（ヘルスケアコース）	2	1.0	1	秋ABC	集中			日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、ヘルスケアコース担当教員から、基礎的な知識、専門用語、会話表現を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム ヘルスケアコースの学生に限る。 対面
3920832	Japan-Expert専門日本語（日本芸術コース）	2	1.0	1	秋AB	集中			日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、日本芸術コース担当教員から、基礎的な知識、専門用語、会話表現を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム 日本芸術コースの学生に限る。 対面
3920842	Japan-Expert専門日本語（日本語教師養成コース）	2	1.0	1	秋ABC	集中			日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、日本語教師養成コース担当教員から、基礎的な知識、専門用語を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム 日本語教師養成コースの学生に限る。 対面